

KYOTO CITY UNIVERSITY OF ARTS
ART GALLERY @KCUA

松井沙都子 個展 モデルハウス

solo exhibition: Satoko Matsui
Model House

2018.12.15^{SAT} — 12.24^{MON/OBSERVED HOLIDAY}

11:00–19:00 | 17日(月)休館 | 入場無料

京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA

主催: 京都市立芸術大学 助成: 公益財団法人 野村財団 制作協力: 幸せ工務店

京都芸術センター制作支援事業

松井沙都子 個展 モデルハウス

2018年12月15日土ー12月24日月・振休

11:00-19:00 | 17日(月)休館 | 入場無料

京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA

主催:京都市立芸術大学 助成:公益財団法人 野村財団 制作協力:幸せ工務店
京都芸術センター制作支援事業

Model House
solo exhibition: Satoko Matsui

家は日常生活の背景であり、多くの人にとってほとんど意識に上ることがないものかもしれません。しかし家は、社会に生きる人の生活を映し出すものであり、それをつぶさに見つめることは、社会の一端に触れることに他なりません。私はこうした考えに基づき、作品制作を通じて、自身の暮らしてきた現代の日本の家について考えてきました。本展ではこの一環として、家をモチーフとしたインスタレーション作品を展開します。

本展を構成するのは、現代の日本の家に用いられるような木材を下地に、落ち着いた色味の壁紙と床材、そして温かい光を灯す照明器具を組み合わせた、立体的な造形物です。それはまるで現代の日本の家そのもののようですが、実在する家を再現したものではなく、住むための機能もあります。そこに現れるのは、今日の私たちにとってなじみ深い、穏やかで感じの良い住環境と、似て非なる空間です。本作を通じて、かつて抽象画が具象画からエッセンスを抽出したように、具体的な家からエッセンスを抽出し、抽象的な「家」を成立させることを試みます。

本展では展示空間全体を、一つのモデルハウスに見立てます。モデルハウスもまた人の住まない家であり、一般化された理想的な住環境がモデルとして提示される点において、抽象的な「家」であると考えます。私はこの「家」によって、今日の私たちの生活とその周囲に広がる社会がいかなるものなのかを問いかけたいと思います。

PROFILE SATOKO MATSUI

松井沙都子 | まつい さとこ

1981 大阪府生まれ
2006.3 京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻油画修了
2015.3 京都市立芸術大学大学院美術研究科博士(後期)課程油画領域 満期退学
2017.3 博士(美術)(京都市立芸術大学)

主な個展 2018.8 「抽象住宅」ギャラリー恵風 | 京都
2015.9 「プランクの住空間」 Gallery PARC | 京都
2013.8 TWS-Emerging 206 「Blind Place」 トーキョーワンダーサイト本郷 | 東京

主なグループ展 2016.4 「TEMPEL/MATERIAL」 大徳寺黄梅院 | 京都
2016.1 「幻想の質量」 2kw gallery | 大阪
2014.11 「はならあと こあ」ならきたまちエリア展示「在り処をみる」工場跡 | 奈良

受賞 2017.3 梅原賞(京都市立芸術大学大学院 美術研究科 博士(後期)過程)

KYOTO CITY UNIVERSITY OF ARTS ART GALLERY @KCUA

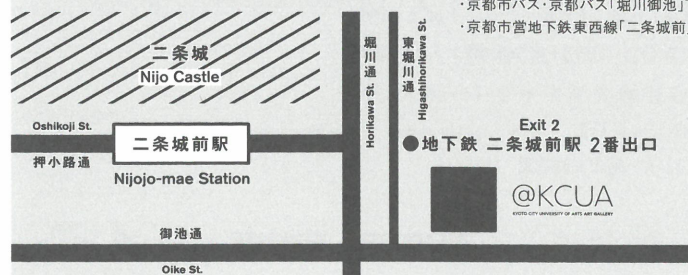
京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA

〒604-0052 京都市中京区押小路町238-1

Phone: 075-253-1509 E-mail: gallery@kcua.ac.jp

http://gallery.kcua.ac.jp

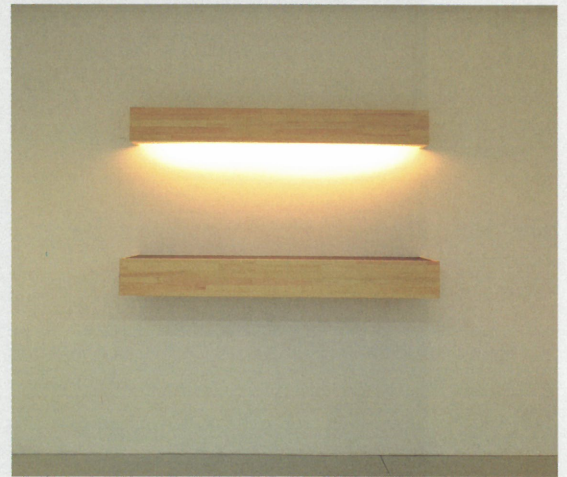
・京都市バス・京都バス「堀川御池」下車すぐ
・京都市営地下鉄東西線「二条城前」駅下車2番出口より徒歩3分



《抽象住宅 (1R)》2018 | フロア材、木材、照明器具、モルタル、カーテン
H 210 × W 148.5 × D 292 cm



《冬の風景》2016 | 電気ストーブ、照明器具 | インスタレーション | サイズ可変



《untitled》2016 | 木材、照明器具、カーペット | H 可変 × W 150 × D 45 cm



《ホーム・インテリア》2015 | 内装材、木材、照明器具 | H 170 × W 128 × D 128 cm